

令和 7 年度 DX 推進実行委員会実施報告

■組織の拡大と多様な主体の参画

「1 人でいても、ひとりぼっちにしない」をテーマに掲げ、4 大学 6 学科（大阪大学、関西大学、大和大学、京都橘大学）、商店街、医療機関、NPO、生協、民間企業、吹田市（高齢福祉室）、社協など多様な団体が参画し拡大しています。

■KPI の達成状況

①アプリ DL 数：目標 10,000DL（1,000 人増） → 【実績】12,291DL（12 月末現在：3,291 人増）

②シンポジウム参加者満足度：目標 80%以上 → 【実績】98.2%

③企画開催：目標 5 回＋音声番組 1 番組＝6 回

→【実績】シンポジウム・勉強会 15 回＋スタンプラリー・マップ作成 8 回＋見守り訓練 3 回＋音声番組 5 番組＝31 回

④参画団体＝第 1 回 18 団体（2025 年 5 月開催） → 第 3 回 27 団体（2026 年 1 月開催）

⑤DX 推進実行委員会参加団体：満足調査＝93.5%（第 3 回 27 団体からの回答結果）

■具体的な活動内容

○シンポジウム・勉強会・体験会 ＝15 回実施

（1）9 月 8 日 南山田地区、福祉シンポジウム開催

＊ 参加者数＝71 名

（2）9 月 28 日 吹田市シンポジウム「認知症の人と家族を支える」開催

＊ 参加者数＝67 名

＊ 【結果 1】満足度調査（山川先生の講演内容）＝98.2%

＊ 【結果 2】満足度調査（釜江先生の講演内容）＝98.2%

＊ 【結果 3】認知症支援に関する音声番組を紹介したい割合＝96.4%

（3）11 月 5 日 すいたの年輪ネット（吹田市高齢者生活支援体制整備協議会）で活動体験

＊ 参加者数＝40 名

＊ 【結果 1】満足度調査（地域共生支援アプリに対して）＝100.0%

＊ 【結果 2】子供や障がい者の緊急時にアプリを広げたい割合＝96.7%

＊ 【結果 3】子供や障がい者の緊急時にアプリに協力したい割合＝96.7%

（4）勉強会・体験会・講義（4 月～2 月）

＊ 関西大学、大和大学×2、京都橘大学、大阪大学医学部、大阪大学大学院、すいたの年輪ネット、地域包括支援センター・社協 CSW、御用聞き学生チーム、認知症カフェ交流会、吹田市 PTA

○スタンプラリー・マップ作成＝8回実施

- (1) すいたライジングサン謎解きスタンプラリー：旭通商店街×大阪大学×地域包括×社協
- (2) 商店街ツアー：旭通商店街×大和大学
- (3) ナイトツアー：旭通商店街×大和大学
- (4) 山一地区音声ガイド付きお寺巡りスタンプラリー（地域住民対象）：福祉委員会×公民館×大阪大学
×地域包括×社協
- (5) 山一地区音声ガイド付きお寺巡りスタンプラリー（小学生対象）：福祉委員会×公民館×大阪大学
×地域包括×社協
- (6) 関大前博士になろう！：関大前商店会×関西大学×社協
- (7) 五月が丘地区 健康クイズ付まちあるきスタンプラリー：高齢者×福祉委員会×障がい者事業所×
大阪大学×地域包括×社協
- (8) 不登校親子サポートマップ：不登校ひろば@吹田×関西大学

○見守り訓練＝3回実施(GPS 機能を活用した多世代型見守り・搜索の取組み)

- (1) 「迷子のすいたん」を探せ：関大前商店会×関西大学×社協
- (2) かくれんぼスタンプラリー：旭通商店街×大和大学×社協
- (3) 江坂公園でかくれんぼスタンプラリー：グリーンホスピタルサプライ株式会社

○音声番組＝5番組設置

- (1) 番組名「大阪大学発！認知症家族支援最前線」（専門チーム×大阪大学老年看護研究室院生）
- (2) 番組名「認知症カフェ交流会」（認知症カフェ交流会メンバー×京都橘大学学生）
- (3) 番組名「釜江先生の部屋」（公益財団法人浅香山病院 認知症疾患医療センター長）
- (4) 番組名「成木先生の部屋」（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 教授）
- (5) 番組名「谷向先生の部屋」（愛媛大学大学院医学系研究科 教授）